



June 2004

Nippon club of the Triangle NEWSLETTER



Vol. 14 No. 1

CLUB NEWS

第14回 日本クラブピクニック

大人も子供も楽しく参加できます

水と遊ぼう

6月26日(土) 12:30pm - 3:30pm (雨天決行)

於: ノースカロライナ・ジャパンセンター

705 Barbour Dr. Raleigh, NC 27603

受付開始 12:00pm

食事 12:30~2pm ・ ・ 焼きそば、焼き鳥、ホットドッグ、おにぎり、ドリンク、かき氷 . . .

競技コーナー1~2pm 水風船連続ヒット、10m 縄跳び、フリスビー

勝ち抜きじゃんけん合戦 2:15pm

賞品ワシントンー東京 往復航空券(ANA提供)

アメリカ国内 往復航空券(JTA提供)

暑さを打ち飛ばす「太鼓」演奏 2:30pm~

[前売り券]

13歳またはそれ以上、大人5ドル (当日券8ドル)

5歳~12歳、3ドル (当日券5ドル)

[申し込みまたは問い合わせ]

岩島 好子 (919)787-6233 yokoiwashima@hotmail.com

緒方 愛 (919) 606-9670 shirokumokun@hotmail.com

主催: 日本クラブ http://www.geocities.com/triangle_nippon_club/

協力: ノースカロライナ・ジャパンセンター

All Nippon Airways Co. Ltd

JTA ジャパン・トラベル・アドバイザー

Pepsi Bottling Ventures LLC.

レストラン「WARAJI」

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER

2004 年度日本クラブ年次総会/ピクニック

恒例の第 14 回日本クラブ年次総会/ピクニックを、6 月 26 日（土）ノースカロライナ・ジャパンセンターの庭で行います。焼きそば、ホットドッグ、焼き鳥、かき氷、飲み物そのほかを用意しております。

「ボランティア募集」

また、例年のように手伝ってくださる方を次のように募集しています。

テント設営 8 名：前日 6 月 25 日（金）夕方 5 時半ごろから 7 時半ごろまで。

食事の準備 6 名：当日 6 月 26 日（土）日本食レストラン「WARAJI」で、朝 9 時から 11 時ごろまで。

ピクニック会場 15 名：6 月 26 日昼 12 時から。

[ピクニック・ボランティアの申し込み、または問い合わせ]
岩島 好子 (919)787-6233 yokoiwashima@hotmail.com
緒方 愛子 (919) 606-9670 shirokumokun@hotmail.com

新・旧 役員紹介

<三浦 晃央> ウェブ担当

日本クラブに所属した理由は、最近、日本人としてのアイデンティティを強く感じるようになったからだそうです。それから、日本クラブの新しいウェブサイトにお気づきの皆さんも多いと思います。まだ、とおっしゃる方はぜひ覗いてみて下さい。

http://www.geocities.com/triangle_nippon_club/

<末吉 千寿子> 「トライアングル茶の湯クラブ」リエゾン

新役員です。日本クラブ同好会「トライアングル茶の湯」のメンバーとしても大活躍の末吉さんをごぞんじの方は多いと思います。「トライアングル茶の湯」は、昨年秋発足してからすでに、UNC・Duke・NCSU の大学関係、トライアングルの学校、その他の催し物などで茶の湯を積極的に紹介してきています。リエゾンだけでなく、いろいろと知恵を授かっています。ピクニック当日は残念ながら州外とのことで参加できないそうです。



<緒方 愛子> 行事推進担当

「あいちゃん」の愛称で呼ばれている、誰からも好かれる、元気いっぱいの行動派です。昨年のピクニックではフェイスペインティングをかってでてくれました。2002 年・2003 年のインター・ナショナルフェスティバル、今年 3 月、ジャパンセンターで行われた「餅つき大会」では、ボランティアとして大活躍でした。今年 6 月 26 日のピクニック企画を契機に、日本クラブの役員として活動してくれることになりました。

ご当人は、「とにかく人の集まるところが好きで、イベントのたびにボランティアとして参加させていただいていました。今回アクティビティの担当をやらせていただくことになり、少しでも楽しいイベントを作るお手伝いをさせていただけたらと思っています。これからもよろしくお願いします」

応援してください。

<山本 敏治>

2002 年・2003 年の 2 年間、日本クラブ役員を勤めてくれました。

「任期中の一番の思い出はなんと言っても、2002 年度中の 2 回のインター・ナショナルフェスティバルでしょう。久々に大学時代の文化祭の時のようなノリでいろいろお手伝いできたと自負しています。今後は、一人のボランティアとして、日本クラブのお手伝いをしていきたいと考えています」と、語っています。

それにしても、9/11 後の、春秋と一年に 2 回のフェスティバルをこなすのは驚異的なことでした。でも、その甲斐あって、昨年何とかが続けることができました。

感情にとらわれないで、いつもニコニコ顔のすばらしいかたです。時間の都合がつくようになったら、また日本クラブのコミュニティー・サービスを、一緒にしましょう。ありがとうございました。

- 日本クラブへの問い合わせ
triangle_nippon_club@yahoo.com

- 日本クラブ掲示板
<http://groups.yahoo.co.jp/group/trianglenippon/>

- 日本クラブのウェブサイト
http://www.geocities.com/triangle_nippon_club/

- 同好会：トライアングル太鼓
<http://www.triangletaiko.org/>

<< ご寄付・ご協力ありがとうございました >> 2003年度は180名を越すボランティアが インターナショナル・フェスティバルに

昨年度のインターナショナル・フェスティバルでは、Duke 大学 (Asia Pacific Study Institute) から 500 ドルのご寄付をいただきました。また日本食レストラン「WARAJI」から食材を提供していただいたり、キッチンを使わせていただいたりしました。また、オーナー自ら調理を指導してくださいました。日本の友人からは、出来立ての玄米茶をティーバックにしたものをいただきました。

例年、大勢のボランティアの皆様によって、このフェスティバルは支えられています。2003年度は、三日間で述べ180名を超えるボランティアのご協力を得ました。

開催前日には会場設営に、仕事場から直行して下さった男性達。当日は朝9時前に補修校から「WARAJI」のキッチンに駆けつけて、仕込みをして下さったお母様方。補修校が終わったあと駆けつけてくれた高校生達。日本らしくと浴衣姿で勢ぞろいしてくれた、女生徒達。土曜日だけでなく日曜日もボランティアをしてくれた、Greenville からの高校生。NCSU の大学生グループ。去年も楽しかったからとまた来てくれた返り咲き組。例年の参加でカフェの看板とも言われる諏訪さん、根木さん。またカフェの企画から閉店まで半年に渡って精力的にプロジェクトを進めてくださった、香織 Backley さんと、香織さんを支えてくださったご主人の Jan さん。

本当に皆さんありがとうございました。

日本クラブのロゴに気がつかれましたか



新しい日本クラブのロゴに気がつかれましたか。

このロゴを作成してくれたのは、Cary に住む横井光穂さんです。彼女は大学でグラフィックデザインとイラストレーションを専攻し、1992年から米国に在住しています。今回のロゴのデザインについて彼女は「トライアングルという言葉そのものが持つイメージを使ってこの地域での日本人コミュニティの輪を表現しました。ロゴ自体は3つの簡単なシェープで構成されています。外側は日本人一人一人の繋がりを、内側はその中で中心となって活動している日本クラブを表現しています」と説明しています。彼女はこれまでもポスターをはじめ、CDジャケット、レストランのメニュー、レターヘッド、名詞や会社のロゴなどをいろいろと手がけ、最近ではガラスアートにも興味を持つなど、新しい分野にもチャレンジし続けているそうです。

2004 インターナショナル・フェスティバル

来たる11月5日(金)から7日(日)の三日間、NC ステート・フェア・グラウンドのグラハムビルとドートンアリーナにおいて、第19回インターナショナル・フェスティバルが開かれます。

日本クラブは昨年と同じく次の行事に参加する予定です。

- メインステージ (太鼓のパフォーマンス)
- ヤングピープルパフォーマンス (子供有志による楽しい太鼓)
- セレモニー (茶の湯紹介)
- コーヒーハウス (尺八と琴の演奏)
- サイドウォークカフェ (食事処)
- デモンストレーション (日本文化紹介)

フェスティバルの食事処や、日本文化紹介などの企画に参加してみたい方はいらっしゃいませんか。7月・8月・9月に、数回ですが集まって計画を立てたいと思います。興味のある方はご連絡ください。

岩島 好子 (919) 787-6233 yokoiwashima@hotmail.com
緒方 愛子 (919) 606-9670 shirokumokun@hotmail.com

ADOPT-A-HIGHWAY Glenwood Ave の清掃を実施

3月20日土曜日の朝、日本クラブのボランティア6人がUSハイウェイ70 (Glenwood Ave) の Crabtree ショッピングセンター / I-540 の間の所定の2マイルを清掃すべく集まりました。それまでの4ヶ月の天候、特にここ数ヶ月の積雪などから覚悟はしていましたが、実際にかかりの量のごみ(29袋)になりました。今回はそれだけでなく鹿の死体(過去10年間で2度目)や皮下注射器(これも2度目)なども見つけましたが、もちろんこれらには触らずに専門家にまかせました。

今回はボランティアの集まりがいつもより少なく、担当地区の東側のみ、しかもその半分しか清掃することはできませんでした。参加者は Anthony Davis、Jeff Erhart、Lu Yang、Hikaru Hiruta、Tim Yamada、Moyer の諸氏で、半分の方が初めての参加でした。度々参加してくれた Tim Yamada 氏はもうすぐ帰国になるとの事で、彼にとっては最後の Adopt-A-Highway となりました。寂しくなります。当日の参加者達へ日本クラブから感謝の意を表するとともに、次回の清掃時にはもっと多数の参加があることを期待したいと思います。



友達と太鼓をたたきませんか

秋の Raleigh International Festival のステージで演奏
5年生から8年生ぐらい
(太鼓の経験不要)

演奏練習は8・9・10月の土曜日午後2時間、8回ほど

トライアウト：6月5日(土)または12日(土)
1:30 - 2:30 pm
於：ノースカロライナ・ジャパンセンター

申し込み・質問などは 岩島 好子 電話 (919)787-6233
またはEメール yokoiwashima@hotmail.com

COMMUNITY NEWS

日米中学校同士の グローバル・パートナーシップ・プログラム (日本クラブの協力も3年目)

広島大学付属東雲(しのめ)中学校は、昨年に引き続きこの夏も8月21日から7名の生徒と3人の先生をラーレイの Exploris 中学校に派遣してきます。それに先立ち6月18日から Exploris 中学校からも7名の生徒と3人の先生が東雲中学校を訪問します。この両校は2001年から姉妹校の関係にあり、その翌年にはそれぞれの先生が相互訪問をし交流の基礎作りを図りました。昨年は始めて東雲中学校から生徒が4日間 Exploris 中学校の授業に参加し生徒同士の交流の場をもちました。今年になりやっと日米双方が生徒を相互に送りあい、教育の現場を体験して交流を実現できるレベルにまでなってきたのです。プロジェクトの推進者の一人、広島大学の朝倉淳助教授は「国際理解教育のモデルケースとして」と抱負を語っています。

日本クラブはこのプログラムを2002年からお手伝いしてきています。

日章旗、未亡人のもとへ

North Carolina Japan Center は第2次世界大戦中に取得された日章旗を、愛知県安城市に住む当時の持ち主の未亡人へ返却するお手伝いをしました。

このニュースは3月8日付けの Raleigh News & Observer 誌で、Dworkin 夫妻と日章旗の写真入でとりあげられましたから、まだ記憶に残っている方もおられることでしょう。

昨年夏、Cary に住む Jeff Dworkin 夫妻がその亡父 Joseph Morley 氏の遺品を整理した時に見つけた日章旗を Japan Center に持ち込みました。Morley 氏は第2次世界大戦の時陸軍に参加し太平洋地区で戦ったという事ですが、Dworkin 夫妻が知っているのはそれだけで、たまたま軍関係の遺品が入ったトランクの中から出てきたとの事でした。

Center Director の Tony Moyer 氏はその日章旗の上に書かれた日本語を判読し、その旗が「草加兼良」氏が出征したときに送られたものと判りました。しかもそこには安城市の市長の名前や「熱田神宮」の印鑑などもあることが判明しました。安城は名古屋郊外の市で、電動工具メーカー「マキタ」の本社があるところですし、その隣町の刈谷市は自動車部品メーカーのアイシン精機(AW North Carolina の親会社)やデンソー(ASMO の親会社)の本社があるところ。また熱田神宮は周知の古く伝統のある神社です。

Moyer 氏は「いろいろな偶然が重なりました。このような出征記念の日章旗は今までも4-5回見たことがありますが、今回ほどその持ち主の詳細が判ったのは始めてです。幸い私はこれらの場所を良く知っていました。私が日本で前職に就いていた時、安城市や刈谷市には度々出かけていましたし、熱田神宮へも私の専門分野の日本史の研究で行ったことがあります。そこで早速安城市の市役所へ該当者の住所問い合わせを行いました」と語っています。

その結果、なんと草加氏の未亡人「草加梅乃」さんが90歳で存命で、この日章旗の返却を望んでいることが判りました。また彼女からの手紙で、ご主人「兼良」氏はフィリピンのクラークフィールド近くの戦闘で1945年4月に戦死とされており、その遺品は何もなかったということが判りました。

Japan Center は早速、この旗を Dworkin 夫妻の手紙を添えて、「草加梅乃」さんあて発送しましたが、彼女の元には3月12日に無事それが届き、彼女はその夫の死後59年ぶりにその遺品と対面することができたのです。Dworkin 夫妻は添付した手紙を書く時に、草加未亡人がその日章旗と対面する時の、悲しみ、喜び、厳粛な気持ちなどの混ざった複雑な気持ちを察すると、なんと書いていいのか本当に困ったと言っていたそうです。また、心から彼女の気持ちが安らぐことを祈ったそうです。



June 2004

Nippon club of the Triangle NEWSLETTER



Vol. 14 No.1

14th Nippon Club Meeting/Picnic

Saturday, June 26th 12:30pm – 3:30pm (rain or shine)

**At the backyard of NC Japan Center and surroundings
705 Barbour Dr. Raleigh, NC 27603
An open invitation to the Nippon Club members and friends**

“Win and get free air-tickets”

**Washington DC/Tokyo free Air-ticket
Domestic free Air-ticket (not Hawaii or Alaska)
rock-paper-scissors game**

**Food: Yakisoba, Yakitori, Snow-cone, and more
Play and get award: Water yo-yo, Long jump rope, Frisbee
BGM and Mini cold fountain geyser**

Taiko performance

[Advance Tickets]

**\$5 for an adult 13 years and older: (\$8 same day ticket)
\$3 for a child 5-12 years: (\$5 same day)
free for children at 4 years and under**

[For ticket request and more information]

**Ai Ogata: (919) 606-9670 shirokumokun@hotmail.com
Yoko Iwashima: (919) 787-6233 yokoiwashima@hotmail.com**

Hosted by: The Nippon Club of the Triangle
http://www.geocities.com/triangle_nippon_club/

**Sponsored by: NC Japan Center
All Nippon Air ways Co, Ltd.
Japan Travel Advisor
Japanese Restaurant WARAJI**

ANA

A STAR ALLIANCE MEMBER



CLUB NEWS

New Officer 2004

Miura, Akio: Web Master
Sueyoshi, Chizuko: 'Triangle Cha-no-yu' Liaison
Ogata, Aiko: Event Promotion

Our new logo



Have you noticed the new logo for Nippon Club of the Triangle?

The logo was created by Ms. Mitsuho Yokoi, who lives in Cary. She came to the United States in 1992 after graduating from university, where she received a major in Graphic Design and a minor in Illustration.

Regarding the design of this logo, she quotes "I wanted to emphasize triangle shape as symbol of Japanese community in this area. The logo is developed by three shapes. The two outer shapes express connections among the people. The inner shape expresses the core of what Triangle Japan Club does in the community."

She has previously designed various types of media such as posters, CD jackets, restaurant menus, letterheads, business cards, and company logos. She is now experimenting with lamp work as her new challenge for her career.

Adopt-A-Highway

Adopt-A-Highway team cleans up Glenwood Ave

A group of six volunteers from the Triangle Nippon Club showed up Saturday morning, March 20, to carry out our Club's quarterly trash pick up along our assigned two mile section of Glenwood Avenue/U.S. Highway 70, about midway between Crabtree Valley Shopping Center and the I-540 interchange. Bad weather seems to bring out a lot of trash, and after all of the snow these past months, our team had a particularly heavy going this time. We collected 29 bags of trash! It was a more exciting collection of trash than usual, since the team spotted a dead deer (only the second such spotting in over ten years) and found and reported a hypodermic syringe (again, only the second such discovery in over ten years). Needless to say, we have never handle these kinds of items.

Since only a few volunteers turned out, we were able to cover only one half of the eastern half of our assigned section of highway. Participants were Mr. Anthony Davis, Mr. Jeff Erhart, Ms. Lu Yang, Mr. Hikaru Hiruta, Mr. Tim Yamada, and Mr. Tony Moyer. Half of the team were first time participants (Ms. Yang, Mr. Erhart, and Mr. Hiruta). Mr. Yamada, who has participated in many of our club's Adopt-A-Highway actions in the past, announced that he will soon to return to Japan, and that this would be his Adopt-A-Highway "Swan's Song." We will miss his help in the future. Thank you from the Nippon Club to all of the participants, and let's try to provide a larger volunteer team next time when we clean up again this summer.

*Keep your eyes on the next issue of the Newsletter or check our website:

- Questions/Opinions:
triangle_nippon_club@yahoo.com
- Nippon Club Mailing List:
<http://groups.yahoo.co.jp/group/trianglenippon/>
- Nippon Club Website:
http://www.geocities.com/triangle_nippon_club/
- Triangle Taiko:
<http://www.triangletaiko.org/>

Community News

Nippon Club helps Partnership program, 3rd year US-Japan Middle School Exchange Program

Exploris Middle School of Raleigh and Shinonome Middle School of Hiroshima began exchanging students last year after two years of preparation. The first year, teachers from both schools visited the other school to observe and study educational activities and systems. "I really wanted to observe their classes, but I couldn't," said Ms. Jenne Scherer of Exploris Middle School. "The Japanese teachers told me that the interruption has to be minimal, so that students can keep to their original curriculum." In August 2003, the first 7 Shinonome students came to Raleigh and were fully involved with the on-going curriculum of Exploris Middle School. This year, on June 18th, 7 Exploris students and 3 teachers will go to Shinonome. One of those teachers is Ms. Jenne Scherer, and she will be able to observe the classes with her students this time. On August 21st, 7 students and 3 teachers will come to Exploris Middle School. Nippon Club will help students and teachers again this year, as we have done for past 2 years.

War-time flag returned to soldier's widow

The North Carolina Japan Center recently assisted in reuniting a war-time flag with the elderly widow of its original owner, a resident of Anjo City in Aichi Prefecture.

Many of you might remember that the Raleigh "News & Observer" reported the story on page B1 of their Monday, March 8 edition, including a photograph of the Dworkins with the flag.

Here is a recount of the story from Mr. Moyer.

Last autumn, an American couple from Cary, Jeff and Gayle Dworkin, brought to the Japan Center a Japanese flag which they had found among the possessions of Ms. Dworkin's deceased father, Joseph Morley. Mr. Morley had served in the United States Army in the Pacific during the Second World War, but they knew no details about how he acquired the flag, which they found in a trunk along with his other war-time possessions.

The Dworkins were interested in understanding the significance of the flag which was covered with Japanese writing. Japan Center Director Tony Moyer was able to identify it as a flag given to Mr. Kusaka Kaneyoshi to take with him on military service. It also had the signature of the Mayor of Anjo City, Mr. Okada Kikujiro, and in one upper corner had the red impression of a seal from the Atsuta Shrine. Anjo City is a suburb of Nagoya. It is the home of Makita, the power tool company, and is next to Kariya City, which is the headquarters of such auto parts makers as Aisin Seiki (parent company of AW North Carolina) and Denso (parent company of ASMO). The Atsuta Shrine is an ancient and famous Shinto shrine in Nagoya.

"Things just came together," says Moyer. "I have seen four or five such flags during my fifteen years at the Japan Center, but never one with such specific details to help locate the home of the soldier to whom it was given. Fortunately, I happened to know these locations. My prior work while living in Japan took me to the Anjo and Kariya areas often, and I know and have visited the Atsuta Shrine due to my background in Japanese history. The Japan Center has an active linkage to Nagoya University, so I asked them for the address of the Anjo City government."

When contacted, Mr. Nao Haegawa of the Anjo City government replied that Ms. Kusaka Umeno, the widow of Mr. Kusaka Kaneyoshi, was still alive, in her 90's, and would certainly like to have her late husband's flag. She added a letter stating that her husband died in the fighting near Clark Field in the Philippines in April 1945, and that she had never received any of his personal effects. Their eldest son had died recently, one son and one daughter also survive.

The Japan Center packaged the flag, along with a note from the Dworkins, and sent it to Ms. Kusaka. Mr. Hasegawa notified the Japan Center that Ms. Kusaka received the flag on Friday, March 12, reuniting her with one of her husband's effects nearly 59 years after his death. The Dworkins said that in trying to write a note to Ms. Kusaka, they found it very difficult to draft a suitable text. They expected that when Ms. Kusaka saw the flag again it would stir many deep feelings, including a mixture of happy, sad, and solemn emotions. They said that they hope it brings her some comfort.



Nippon Club of the Triangle
705 Barbour Dr. Raleigh, NC 27603
http://www.geocities.com/triangle_nippon_club/